

フジキンつくば先端事業所訪問レポート

運営委員会チーム E

SDGs 活動共有ミーティングをフジキンのつくば先端事業所にて開催しました。工場見学に加えて、持続可能な社会の実現に向けて、各社における環境、事業、社会、サステナビリティ・ガバナンス活動内容を共有しました。

フジキンからは、再生可能エネルギーの採用、地元行事への協賛や貢献活動、社員教育、健康と安全維持と向上の活動などの報告がありました。

日時：2025年2月25日

場所：株式会社フジキン 万博記念つくば先端事業所

日程：

- ・合流 / 移動 ご挨拶
- ・フジキン紹介（ビデオ）
- ・フジキン工場視察
- ・SDGs 活動報告（参加者による全体討議）

当日の説明の中からフジキンの活動をご紹介します。

敷地面積約11万5000㎡の研究・製造拠点。

清浄度クラス1の各種クリーンルームやマシニングセンターなど、最先端の技術対応可能な環境が整っています。

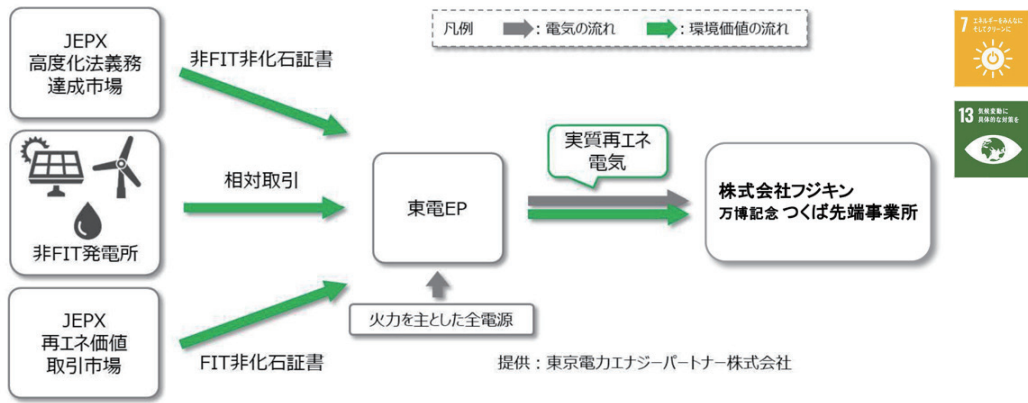


万博記念つくば先端事業所（上空から）



当日出席者の皆様

フジキン SDGs 推進活動の一例として、電力関連の取り組みをご紹介します。



電力非化石電力に移行（東京電力エナジーパートナー様とグリーンベーシックプラン契約）

駐車場屋根にカーポートソーラー



花の形状した太陽光発電システム導入
固定太陽パネルより30~40%ほど多く発電



EV 小型トラック導入

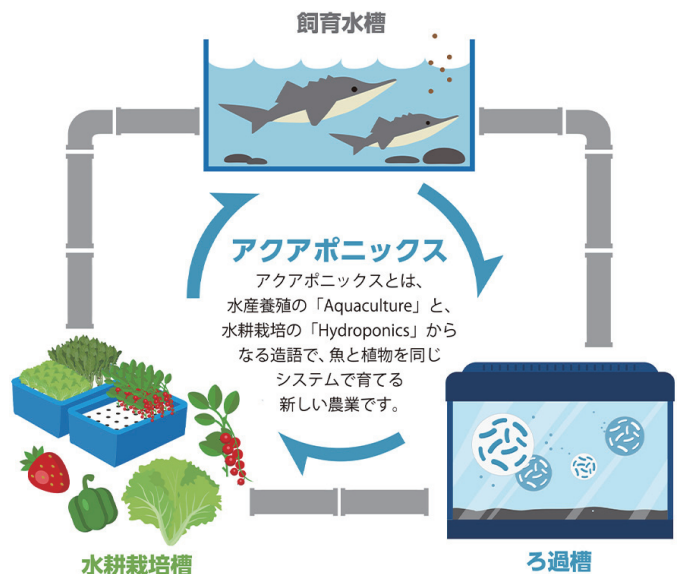


アクアポニックス採用

水産養殖の「Aquaculture」と水耕栽培の「HYDROPONICS」からなる造語で、魚と植物を同じシステムで育てる新しい農業です。

フジキンは1992年民間企業として日本で初めてチョウザメの人工ふ化に成功。1998年には、世界で初めて水槽での完全養殖に成功しています。フジキン産のチョウザメは「超ちょうざめ」と名付けられています。参加者は、水耕栽培を組み合わせた先進的な飼育施設等を見学しました。

（運営委員 菊地 英介）



アクアポニックス